





メンテナンス・お手入れ方法

|  注意 ケガや器物損傷の原因となる。 | | |
|--|---|--------------------------|
| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|  | ●ハウジング部にシンナー、ベンジンまたはアルコールおよび有機溶剤を含むクリーナーなどを使用しない。 | 表面が溶けたり変質、変形したりするおそれがある。 |

●注油時期と方法

使用後にエア取り入れ口（インレット部）から付属のオイルまたはエアツール用オイルを数滴注油し1～2秒程度回転させる。

| | |
|---|-------------|
|  | 長時間空回転させない。 |
|  | 先端工具は取り外す。 |

●保管方法

保管時はエア取り入れ口（インレット部）からゴミやホコリが入らないように保管する。

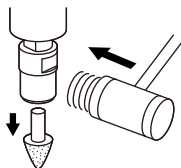
●修理

保守パーツは KTC 純正部品をご使用ください。また修理はお買い求めの販売店様にご相談ください。

故障かな?と思ったら

| 症状 | 考えられる要因 | 対処方法 |
|-------|-------------------|-------------------------|
| 動かない | エアホースが接続されていない。 | エアホースを接続する。 |
| | エアがきていない。 | コンプレッサおよびエア配管を確認する。 |
| | コンプレッサの異常。 | コンプレッサを確認する。 |
| 回転が弱い | エア圧が不足している。 | コンプレッサおよびエア配管を確認する。 |
| | エアホースの内径が細い。 | 適切な内径のホースを使用する。(8mm 以上) |
| | コンプレッサ能力が低い。 | エア消費量に見合ったコンプレッサを使用する。 |
| | レギュレーターが位置が適正でない。 | レギュレーターを操作する。 |

先端工具が抜けなくなった場合は、コレットナット部を木づちなどで傷つけないように軽くたたいてください。簡単に抜けます。



販売者の名称・所在地： 京都機械工具株式会社

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

本製品のお問い合わせはお客様窓口までお寄せください。
 お客様窓口
 ☎ (0774)46-4159
 ☎ (0774)46-4359

E-mail : support@kyototool.co.jp
 電話受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00
 (土・日・祝祭日及び弊社休業日除く)

製品情報 <http://ktc.jp/>
 製造国：日本

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

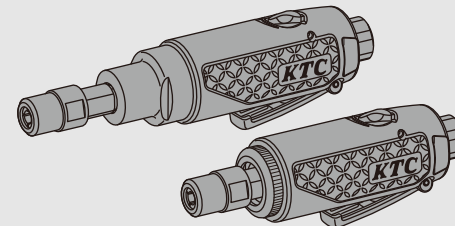
T068042-0.17.07.KTC



このたびは、ストレートグラインダー（No.JAP510/No.JAP520）をお買い上げいただきありがとうございます。本製品をより安全・適切にご使用して頂くために、取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。

業務用





ストレートグラインダー（低速タイプ）
 No.JAP510
 ストレートグラインダー（高速タイプ）
 No.JAP520



取扱説明書

安全上のご注意

この取扱説明書には以下のマークを付けています。

| | | | |
|---|--------------|---|------|
|  | 拡大被害が予想される事項 |  | 禁止行為 |
|  | 必ず行う |  | 確認行為 |

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

- 第三者に譲渡、貸与される場合もこの説明書を必ず添付してください。
- この説明書は大切に保管してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社お客様窓口にご連絡ください。

|  警告 死亡や重傷の原因となる。 | | |
|--|------------------|----------------------|
| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|  | ●安定した作業姿勢で作業を行う。 | 落下や転倒などによるケガのおそれがある。 |

|  注意 ケガや器物損傷の原因となる。 | | | | | |
|---|-----------------------|---|---|---|------------------------|
| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 | 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|  | ●分解・改造をしない。 | 器物損傷の原因になる。加熱加工した場合には本来の性能を発揮することができない。 |  | ●落下させない。 | 破損の原因になる。 |
|  | ●適用以上の作業はしない。 | 破損の原因になる。 |  | ●回転数に適合した（見合った）先端工具を使用する。 | ケガ、破損の原因になる。 |
|  | ●化学薬品、海水、水分などを付着させない。 | 破損の原因になる。 |  | ●先端工具は、割れやヒビなどの異常がないことを確認して、コレットチャックにしっかりと装着する。 | ケガ、破損の原因になる。 |
|  | ●回転している先端工具に触らない。 | ケガの原因になる。 |  | ●水のかかる場所で使用しない。 | 破損の原因になる。 |
|  | ●圧縮空気以外は使わない。 | 破損の原因になる。 |  | ●作業前に点検を行う。 | 製品に亀裂や変形がある場合は使用を中止する。 |
|  | ●長時間空回転させない。 | 破損の原因になる。 |  | ●確実に本体を保持する。 | 反動により本体が動きケガの原因となる。 |
|  | ●保守、点検をする。 | 製品に亀裂や変形がある場合は使用を中止する。 | | | |
|  | ●めがね、耳栓などの安全具を使用する。 | ケガの原因になる。 | | | |

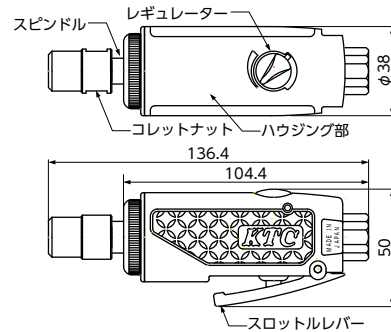
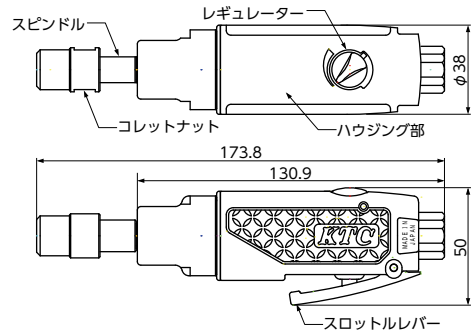
製品寸法・名称

No.JAP510

| | |
|------------|------------------------------------|
| コレットサイズ | 6mm |
| コレット固定部二面幅 | 小側11mm 大側17mm |
| 無負荷回転数 | 5000rpm |
| 使用空気圧 (動圧) | 0.62MPa |
| 無負荷空気消費量 | 380L/min (0.38m ³ /min) |
| エアインレット | PT1/4" |
| 重量 | 0.44kg |

No.JAP520

| | |
|------------|------------------------------------|
| コレットサイズ | 6mm |
| コレット固定部二面幅 | 小側11mm 大側17mm |
| 無負荷回転数 | 25000rpm |
| 使用空気圧 (動圧) | 0.62MPa |
| 無負荷空気消費量 | 380L/min (0.38m ³ /min) |
| エアインレット | PT1/4" |
| 重量 | 0.32kg |



お使いになる前に

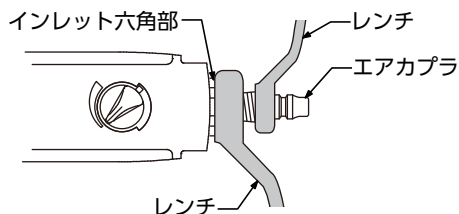
エアグラインダーをお使いになる前に以下をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

●ご使用のエアについて

- 確認**
- 常に清浄で乾燥した適正圧の圧縮空気を使用する。
 - 配管にはフィルター、レギュレーター・オイルを使用する。
 - コンプレッサや配管は定期的に点検清掃し、ドレインや水分を除去する。
 - 使用機器全体の必要エア量に応じたコンプレッサ、配管、ホースにする。
 - 老化したホースは使用しない。
 - ホースや配管などは長くなると、空気圧を大幅に損失します。
 - 付属のエアカプラを使用する。他のものを使用すると、エア漏れ、トルク低下の原因となる。

●エアカプラの取り付け

エアカプラの取り付け時には必ずインレット六角部の回り止めを行う。
回り止めを行わないと、インレット六角部が増し締めされ作動不良の原因となる。



! インレット六角部を「めがねレンチ」または「スパナ」などで回り止めをする。

使用方法

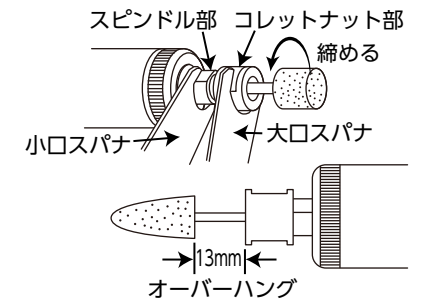
| 警告 <small>けいこく</small> 死亡や重傷の原因となる。 | | |
|-------------------------------------|--|--------------|
| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
| | ●先端工具に表示されている周速度や回転数以上で使用しない。 | ケガ、破損の原因になる。 |
| | ●保護めがね、耳栓などの安全具を使用する。 | ケガの原因になる。 |
| | ●保持力が不完全な場合、高速回転により先端工具が飛び出す恐れがあるため、コレットチャックに先端工具を正確にしっかり装着する。 | ケガ、破損の原因になる。 |
| | ●コレットチャックに破損や異常摩耗などの異常がないか、点検を行う。異常があればすぐに使用を中止して、正常なものと交換する。 | ケガ、破損の原因になる。 |
| | ●使用前に先端工具に割れ、欠け、ヒビなどがないか、点検を行う。 | ケガ、破損の原因になる。 |

1. 先端工具を取り付ける

使用目的にあった先端工具をコレットチャックに取り付ける。

- 確認**
- 先端工具の軸をコレットチャックに深さ15mm~20mmくらいまでしっかりと差し込んでください。次に小口スパナでスピンドル部を固定し、大口スパナでコレットナット部をしっかりと締め付けてください。
 - 差し込んだ先端工具とコレットチャックの距離(オーバーハング)は13mm以下を保ってください。
※最高使用速度はオーバーハングが13mmの距離での計算値です。

確認 コレットチャックの径と先端工具の軸径が適合しているか確認してください。
軸径：6φmm



2. レギュレーターを調整する

本体のレギュレーターで回転数を調整する。

3. エアホースを接続する

適正圧に調整されたエアホースを本体に接続する。

- 確認**
- エア動圧は、0.6~0.7Mpa (6~7Kgf/cm²) で使用する。
適正使用空気圧：0.62Mpa(6.32Kgf/cm²)

4. スロットルレバーを操作する

スロットルレバーをにぎることで、エアが本体に送られ、回転が始まる。
止めるときはスロットルレバーを離す。

- !**
- スロットルレバーはゆっくり操作する。
 - 本体が動いても安全な場所を確保する。
 - 作業始め、終わりに反動で本体が動きまわります。本体をしっかり保持し、ゆっくりとレバー操作を行う。

